

- 問1 滋賀県に位置する安土城や長浜城、坂本城などの城郭は、その立地に共通した特徴があります。戦国時代から安土桃山時代にかけて、これらの城が琵琶湖のすぐ近くに築かれた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 滋賀公立入試 類似)
- 琵琶湖の豊かな水を利用して、水田開発を進めるための農業拠点とするため
 - 琵琶湖を天然の堀として防御に利用し、同時に湖上の船を利用した物流や軍隊の移動を円滑にするため
 - 険しい山頂に築くことで、標高の高さによる圧倒的な視認性を確保し、敵軍の侵入を物理的に遮断するため
 - 内陸部からの敵の侵入を防ぐため、周囲に広大な平野が広がる近江盆地の中央部に孤立させるため
- 問2 琵琶湖の水利用と周辺地域の状況について述べた次の文のうち、正しい事実に該当するものはどれですか。なお、人口密度が1平方キロメートルあたり2,000人以上の地域を「高密度地域」と定義します。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- 琵琶湖の水を利用している人の割合は、水源がある滋賀県内よりも、下流にある大阪府の方が高い。
 - 琵琶湖の周辺や下流の大阪府・京都府南部は、いずれも人口密度が低い地域に分類される。
 - 京都府において琵琶湖の水を利用している人の割合は人口の約3割にとどまり、依存度は低い。
 - 琵琶湖の水は工業専用の用水であり、滋賀県内でも飲み水として利用されることはない。
- 問3 近畿地方に属するある県は、東側で中部地方の岐阜県や愛知県と隣接しています。この県は、中京工業地帯の一角を担うなど中部地方との経済的な結びつきも非常に強いですが、この県はどこですか。 (2017年 山形公立入試 類似)
- 三重県
 - 滋賀県
 - 奈良県
 - 福井県
- 問4 日本の都道府県のうち、北は日本海、南は瀬戸内海という2つの海に面した広大な県域を持ち、県内に位置する淡路島と本州の神戸市を明石海峡大橋によって結んでいる自治体はどこですか。 (2026年 静岡公立入試 類似)
- 兵庫県
 - 大阪府
 - 岡山県
 - 徳島県
- 問5 和歌山県南部では、冬でも温暖な気候を利用して梅の栽培が盛んに行われています。この地域の温暖な気候をもたらす要因となっている、太平洋沿岸を北上する暖流と、地域の背後に連なる山地の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2025年 長野公立入試 類似)
- 黒潮（日本海流）と紀伊山地
 - 親潮（千島海流）と紀伊山地
 - 対馬海流と中国山地
 - 黒潮（日本海流）と中国山地
- 問6 近畿地方の各府県を比較した統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり300人未満という低い水準にある府県で見られる、人口増減率と高齢化率の特徴として正しいものはどれですか。 (2015年 岡山公立入試 類似)
- 人口増減率がマイナス（減少）を示しており、高齢化率が地域内で最も高い水準にある。
 - 人口増減率がプラス（増加）を示しており、高齢化率が地域内で最も低い水準にある。
 - 人口増減率がマイナス（減少）を示しているが、高齢化率は地域内の平均よりも低い。
 - 人口増減率がプラス（増加）を示しているが、高齢化率は地域内で最も高い水準にある。
- 問7 神戸市の中心部における地形の特色と、そこから読み取れる都市の形成状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛知公立入試 類似)
- 北側に六甲山系が迫り南側が海に面するという限られた平地に、主要な駅や官公庁が集中して配置されている。
 - 広大な平野の中央部に大規模な盆地が広がっており、その中心部に等高線に沿って公共施設が分散している。
 - 複雑に入り組んだリアス海岸の入り江ごとに、山を背にして独立した小規模な集落と駅が点在している。
 - 大規模な扇状地の扇端部に位置しており、等高線の間隔が非常に広い平坦な土地を利用して官公庁が並んでいる。
- 問8 滋賀県の中央部に位置し、県の面積の約6分の1を占める、日本で最も面積が広い湖の名称を次の中から選びなさい。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- 琵琶湖
 - 霞ヶ浦
 - 猪苗代湖
 - 諏訪湖
- 問9 大阪府の製造業は、愛知県や神奈川県などの他の工業集積地と比較して、事業所数が非常に多い一方で、1事業所あたりの平均従業員数は約27人と少ないという統計的な特徴があります。このような環境にある東大阪市において、人工衛星や新幹線の部品といった高度で精密な製品づくりを可能にしている背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- 様々な分野の専門的な技術を持つ多くの中小企業が、互いに協力・連携して製品を開発しているから
 - 巨大な資本を持つ1つの中核的な大企業が、すべての製造工程を自社内で完結させているから
 - 海外から安価な原材料と労働力を大量に導入し、単純な構造の製品を低コストで量産しているから
 - 国が直轄する大規模な研究施設を建設し、近隣の工場にすべての製造指示を出しているから
- 問10 近畿地方の各都府県の特産物をまとめた資料において、奈良県南部の山岳地帯で行われている林業に関連する特産物として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- 吉野すぎ
 - 九条ねぎ
 - 賀茂なす
 - 淡路のたまねぎ
- 問11 京都市では、歴史的な景観を保全しながら都市の活力を維持するため、地域ごとに建物の高さの上限を定める「新景観政策」を導入しています。この制度において、歴史的な建造物が多く残る「保全区域」や、都市の再生を図る「再生区域」など、区域によって最高限度を細かく設定している主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- 市内のどの場所からも山並みが見えるようにし、歴史的建造物と調和した景観を維持するため
 - 市全域で一律の高さ制限を設けることで、建築コストを抑え住民の負担を軽減するため
 - すべての区域で高層ビルの建設を促進し、周辺都市よりも人口密度を高めるため
 - 工業化を優先させるために、住宅地以外の区域では高さ制限をすべて撤廃するため
- 問12 滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖と、その周辺地域との関わりについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 山口公立入試 類似)
- 湖から流れ出る水は淀川などを通じて、大阪府や兵庫県を含む広域の住民の生活を支える貴重な資源となっている。
 - 滋賀県内のみで完結する農業用水として利用されており、他府県の工業地帯へ供給されることはない。
 - 日本海側に面した大規模な潟湖であり、古くから東北地方との交易の中継地点として発展してきた。
 - 静岡県に位置する汽水湖であり、周辺ではうなぎの養殖や楽器の製造などの工業が盛んである。
- 問13 中京工業地帯に属する三重県の産業構造について、隣接する愛知県と比較した際の説明として最も適切なものはどれですか。なお、愛知県は製造品出荷額等の半分以上を輸送用機械が占めているものとします。 (2024年 鳥取公立入試 類似)
- 輸送用機械が最大のシェアを占める点は共通しているが、三重県の方が食品や鉄鋼など幅広い部門が上位に含まれる。
 - 愛知県は内陸部での電子部品製造が中心であるが、三重県は沿岸部での造船業に特化した構造となっている。
 - 三重県は輸送用機械の割合が愛知県よりも高く、県内のほぼすべての製造品出荷額を自動車産業が占めている。
 - 愛知県は軽工業の割合が高いのに対し、三重県は伝統工芸品を主軸とした地場産業が製造品出荷額の過半数を占める。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 琵琶湖を天然の堀として防御に利用し、同時に湖上の船を利用した物流や軍隊の移動を円滑にするため	織田信長が築いた安土城や羽柴秀吉が築いた長浜城などは、いずれも琵琶湖に面するように配置されています。これは琵琶湖を巨大な堀に見立てて城の防御力を高めるだけでなく、当時、近畿地方と北陸・東国を結ぶ重要な交通路であった琵琶湖の水運（舟運）を掌握し、物資や兵員を効率的に運ぶ狙いがありました。このように、軍事的な拠点としての役割と、交通・物流の管理という経済的な役割の両立を図った立地といえます。
問2	答え 1 琵琶湖の水を利用している人の割合は、水源がある滋賀県内よりも、下流にある大阪府の方が高い。	2019年の統計データによれば、琵琶湖の水を利用している人の割合は滋賀県で84.8%であるのに対し、下流の大阪府では99.6%に達しています。このように、水源地である滋賀県以上に下流の大阪府での依存度が高いことが特徴です。また、琵琶湖周辺や大阪府、京都府南部には人口密度が2,000人/km ² を超える地域が集中しており、多くの人々の生活を支える「近畿の水がめ」として、厳しい水質管理が求められる背景となっています。
問3	答え 1 三重県	三重県は地理上の区分では近畿地方に含まれますが、中京圏（名古屋市を中心とした経済圏）としての側面も強く持っています。伊勢湾に面した四日市市などは愛知県の工業地帯と連続しており、中京工業地帯の重要な拠点となっています。北側で岐阜県、東側で愛知県という中部地方の県と隣接していることが、この経済的な繋がりの背景にあります。
問4	答え 1 兵庫県	兵庫県は近畿地方の西端に位置し、北部の但馬地域で日本海に、南部の播磨・摂津地域で瀬戸内海に面しています。瀬戸内海に浮かぶ淡路島も兵庫県の一部であり、本州との間には世界最大級の吊り橋である明石海峡大橋が架けられています。これにより、近畿地方から四国地方（徳島県方面）への陸路による交通の要衝となっています。
問5	答え 1 黒潮（日本海流）と紀伊山地	和歌山県南部は、低緯度から流れてくる温暖な「黒潮（日本海流）」の影響を強く受けます。さらに、北側には険しい「紀伊山地」がそびえており、冬の冷たい北風を遮る壁のような役割を果たすため、梅の開花や生育に適した温暖な気候が保たれています。
問6	答え 1 人口増減率がマイナス（減少）を示しており、高齢化率が地域内で最も高い水準にある。	人口密度が低い地域は、山間部などの過疎地域を抱えていることが多く、進学や就職に伴う若年層の都市部への流出が顕著です。その結果、総人口が減り続ける「人口減少」が進行するとともに、相対的に高齢者の割合が高まるため、統計上では人口増減率のマイナスと高齢化率の最高値が同時に現れる傾向があります。
問7	答え 1 北側に六甲山系が迫り南側が海に面するという限られた平地に、主要な駅や官公庁が集中して配置されている。	神戸市は、北側の六甲山系と南側の大阪湾（瀬戸内海）に挟まれた東西に細長い土地に市街地が形成されています。地形図からは、北側に等高線が密集する急峻な山地が迫っている様子や、その山麓から海岸までのわずかな平地の中に、三ノ宮駅や元町駅、兵庫県庁、神戸市役所といった主要な都市機能が密集して存在していることが読み取れます。このような狭小な平地という地理的条件が、神戸の都市構造を決定づける要因となっています。
問8	答え 1 琵琶湖	滋賀県にある琵琶湖は日本最大の面積を誇る淡水湖です。古くから交通の要所として利用されてきたほか、現在では近畿地方の1,400万人以上の生活を支える重要な水資源となっています。選択肢にある霞ヶ浦は茨城県にある日本で2番目に大きい湖、猪苗代湖は福島県、諏訪湖は長野県に位置する湖です。
問9	答え 1 様々な分野の専門的な技術を持つ多くの中小企業が、互いに協力・連携して製品を開発しているから	東大阪市には、特定分野で高い技術力を持つ中小企業が数多く集まっています。1社あたりの規模は小さくても、それぞれの企業が持つ「専門的な技術」を出し合い、強いネットワークで「協力」・連携することで、人工衛星のような1社では製造困難な「精密な機器」の開発や生産を実現しています。このように、小規模な事業所が密集し、互いの強みを活かす仕組みが地域工業の大きな特徴となっています。
問10	答え 1 吉野すぎ	奈良県南部の紀伊山地では、森林資源を有効に活用した林業が発展してきました。九条ねぎや賀茂なすは京都府で栽培される伝統野菜（京野菜）であり、たまねぎは兵庫県の淡路島が主な産地です。吉野地方で生産されるスギは、その質の高さから「吉野すぎ」としてブランド化されています。
問11	答え 1 市内のどの場所からも山並みが見えるようにし、歴史的建造物と調和した景観を維持するため	京都市は三方を山に囲まれた盆地に位置し、多くの文化財を有しています。そのため、無秩序な高層化が歴史的景観や周囲の山並みへの眺望を損なわないよう、区域の特性に応じて建物の高さに「最高限度」を設けています。例えば、歴史的な景観を重視する「保全区域」では、都市の利便性を重視する区域よりも厳しい高さ制限が課されるなど、景観と都市活動の両立が図られています。
問12	答え 1 湖から流れ出る水は淀川などを通じて、大阪府や兵庫県を含む広域の住民の生活を支える貴重な資源となっている。	琵琶湖から流れ出る水は、瀬田川、宇治川、そして淀川へと名前を変えながら大阪湾へと注ぎます。この過程で、京阪神大都市圏の膨大な人口の生活用水や、阪神工業地帯の工業用水として活用されており、近畿地方の経済・生活基盤において不可欠な存在です。なお、選択肢にある霞ヶ浦は茨城県、浜名湖は静岡県、中海は島根県と鳥取県にまたがる湖です。
問13	答え 1 輸送用機械が最大のシェアを占める点は共通しているが、三重県の方が食品や鉄鋼など幅広い部門が上位に含まれる。	三重県と愛知県はともに日本屈指の工業地帯である中京工業地帯に位置し、自動車を中心とした輸送用機械が産業の柱となっています。愛知県は輸送用機械への集中度が極めて高い（約55%）のに対し、三重県は輸送用機械が約34%で最大シェアではあるものの、食品、鉄鋼、化学といった多様な工業部門が一定の割合を保持しており、産業構成に広がりがあることが統計上の大きな特徴です。